

神奈川県相模原市 保育園見学 IN 社会福祉法人菊清会

第62号 2018年5月7日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

保育園見学

神奈川県相模原市にある、みんなのとおぼ保育園、オアシスみくり
保育園に、沖縄県にある小規模施設を運営している園長先生と一緒に
見学をさせていただきました。

見学をさせていただいた2園を運営するのは社会福祉法人菊清会さん。
他にも八王子や世田谷にも園があり、計7園を運営しています。

参照：本誌、第15号では社会福祉法人菊清会さんの世田谷の園を
見学した際の記事もお読み頂けます。

みんなのとおぼ保育園

園児数：80名

平成25年度より認可保育園となり、園名が「みんなのとおぼ保育園」
となりました。法人の理念は平和な社会を創造する。特徴は子どもを
尊重した保育を基本とし子どもの伸びる力を信じ主体的な生活出来る
よう「見守る保育」を展開しています。

オアシスみくり保育園

園児数：18名

平成27年度から始まる子ども・子育て支援制度の小規模保育運営支援
事業の地域の実情に応じ多様な保育を提供し、もって心身ともに健やか
な児童を育成することを目的として連携園を「橋本りんご保育園」「みん
なのとおぼ保育園」として開設しました。小さい保育園ならではの家庭
的な保育を目指し、職員全員で一人ひとりの子どもの成長を保護者の方
と共に見守っています。



みんなのとおぼ保育園 01歳児保育室

子どもが子どもらしく生きる

2園の見学させて頂く中で、みんなのとっぽ保育園の田中園長、オアシスみくり保育園の荒井園長先生から園見学で伺った内容の一部を抜粋してお送りします。

田中：みんなのとっぽ保育園はもともと、同法人が運営する橋本りんご保育園の分園としてスタートしました。その関係もあって、開園当初は今、事務室として使っている部屋は乳児のお部屋でした。増築をして保育室のレイアウトも見直し、保育を行っています。

—絵本コーナーには穴倉もあるんですね。

田中：中に入ってゆったりしていることもあれば、友達同士と一緒に読んでいることもあります。園の理念として「子どもが子どもらしく生きる」を大切にしています。

それがどういうことを考えたとき、色々あると思うのですが、文字を教えようではなく、まずは好きな絵があって次第に文字に興味が出るようになって、自分の名前を覚えたり自然とそうなったらいなと環境を用意しています。

—園児さん一人ずつの絵本貸出カードもあるんですね。

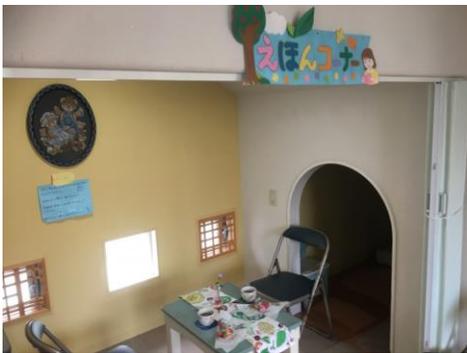
田中：貸出カードをするようになってから、子どもたちの貸し出しも増えましたね。近くの本屋さんへ子どもたちと一緒に買いに行って、「どうしてもこの本が欲しい！」という子どもの希望も応えて、予定より1冊多く購入しました。

—玄関ホールの掲示板にはこういったものを掲示しているのですか？

田中：職員紹介や2週間案（保育計画）、今月の誕生日の子の顔と名前の掲示、給食の人気メニューレシピなんかも掲示しています。理念の「子どもが子どもらしく生きる」という中で、誕生日の掲示もその一つだと考えていて、お誕生会もその子の誕生日の日にお祝いをしています。また、保育の活動も2週間という中で、きっちりというよりは、子どもたちの様子を見ながら行っています。



右手の部屋は開園当初は乳児室として使われ、現在は事務所に。増築して、部屋のレイアウトも当時とは変更。



絵本コーナー



絵本貸出カード



オアシスみくり保育園さんでの誕生日様子を写真でポスター掲示する実践

—誕生日一人ずつのこのポスターは親御さんは喜ばれるでしょうね。
荒井：小規模ならではの所もあり、ケーキもその子の好きなもので調理師の先生が作ってくれています。ポスターを欲しいと申し出が多く、以前はお渡ししていなかったのですが差し上げるようにしました。

—近隣にはたくさんの公園があるんですね。

田中：はい、近くにはたくさんの公園があって、同法人の園と連絡を取って同じ公園で子どもたちが遊べるようにしている日も設けています。小さい子たちも、「この公園には大きな滑り台があるよ」とか、写真と地図でイメージが湧くようにして、自分で見て分かるような環境づくりに努めています。

—時計には動物や果物が貼ってありますね。

田中：時計には、どのお部屋にも共通で数字の所に同じ動物や果物等を貼り付けて、時計が読めなくても例えば13時だったら、「いちごまでだよ～」と伝えています。



玄関ホールの掲示板

—そうすると、自分で時計を見て行動が出来ますね。荷物入れには、名前と顔写真が貼ってあるんですね。

田中：小さい子でも、早いうちからお友だちのタオルかなんかを覚えています。子どもたちの「これ誰の？」と聞くと、「〇〇ちゃんの～」と教えてくれることもあります。

以前は、名前や顔写真ではなく、記号やマークなどで誰のものか識別出来るようにしていましたが、友達同士の関わりも増えたりすることから切り替えるようにしました。



お散歩マップ

—他園からコーナーやゾーンづくりで、次第に環境が落ち着いてマンネリすることがあるとお聞きすることがあるのですが、何か工夫されていることはあるでしょうか？

田中：先生方に伝えていることもでもあるのですが、子どもたちの興味関心がある遊びを発展させていくと次第に遊びこむようになっていきます。ただ、子どもたちに経験させたいことや意図もあるので、その時は例えば、まず先生がモデルになって遊びを示していると興味を持った子が集まってきて、次第に遊びが広がっていくことがあります。



名前と顔写真で書かれた棚



机上遊びゾーン



今日の給食はカレー

第59号、第60号

ミマモリングソフトの開発の
経緯と活用事例①、②

第61号

幼児期の終わりまでに
育てほしい10の姿①

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

見学を終えて思うこと

一緒に見学を廻った園長先生は「以前、東京の別の園を見学したけれど、規模が大きく小規模施設では出来るのだろうかと思っていた。でも、今回小規模施設の園長先生からも話を伺い安心した。まずは出来るところ、お誕生会や名前と顔写真のところから始めてみたいと思います！」と晴れやかな表情をされていました。

これまで他園の見学をお二人の園長もたくさんしてきたと言います。

本誌でご紹介している内容は、お聞きした内容の一部ではありますが、その他にも保育日誌や保育計画など、他園ではどうしているのだろう？という所まで、少しでも役に立てるのならと余すことなく園内を見させて頂きました。

昨年6月に、同法人の3園を見学させて頂き、今回2園を見て、改めて感じるのは、同法人でありながらもそれぞれに特色があるということです。

田中園長は、「理念に沿った実践が園ごとに特色として表れることを、子どもたち一人ひとりの個性を認めるように、理事長は私たちそれぞれの園長を認めてくれています。」と言います。

見学を快く受け入れてくださった2名の両園長先生方には、感謝してもしきれません。「他園で見学させてもらった時はよくしてもらったから、来てもらったときにはおもてなしをしなきゃ！」と言われる理事長の帰り際の一言には、異年齢の育ちのようなものも感じました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。